

# ガンコ親父の

「お父さん、もう一週間で今年も終わりですね。ほんと、早いんだから」と妻の貴代が話しかけてきた。そういえば、未っ子の学が結婚したのが6月で、その半年前の出来事さえも、つい最近のことのように感じられるが、松次郎なりの事情で空回りした部分だけは妙に長く感じられた。

去年の11月、日本の国会でブータンの若き国王による、被災した国民に対する励ましを重視する国王の話にいたく感動した。国王はさらに滞在中に、福島の子供達に「人間の心の中には龍がいる」という話もされた。自分の中の龍を強く育てなさい、という話が松次郎の心に深く刻み込まれた。

松次郎は心の中に善意の龍を育てよう  
 奄美黒糖焼酎  
 と思い、すぐに赤い目の怖い顔をした龍の貯金箱を買い込んだ。



被災者支援に使うために、龍の貯金箱を小銭でいっぱいにしてよと考えたのだった。しまっちゅ伝蔵の栓を抜く日は必ず百円玉を貯金箱に入れようと、自分に義務を課した。365日、松次郎が飲まない日はない。ということは1年で3万6千円以上は間違いなく貯まるということだ。松次郎は自分の行為に満足しながら、部屋の本棚にその貯金箱を置いた。

「思い込みの頑固さ」と「はじめの気合い」は誰にも負けない松次郎だったが、残念ながら、継続する粘りに欠けるところが弱点でもあった。毎日、百円投入。順調に進んだ1月だったが、節分あたりに百円玉を切らして「明日に二回分」と思った日から、だんだんと間隔が空くようになった。

人間は弱いものだ。一度途切れると意思も弱くなることが多い。松次郎の自分の中の強い龍を育てる計画も怪しくなってしまう。学と花菜の結婚式があった六月こそ、気分が高揚して五百円玉を気前良く投入した。だが、気持ちもそれが精一杯で、ついには夏のけだるさが、松次郎のわずかな根気にとどめを刺してしまった。

10月には、貯金箱の赤い目にはさまれているような気がして、思わず龍の顔を後ろ向きにした。12月に入ったら、終わっていない宿題をどっさり抱えた夏休み最終日のような気分が続いた。この歳になって、貯金箱に急かされるとは。しかし、弱っていた松次郎を天は見捨てなかった。クリスマスの朝目覚めると、気分がなないうちに本棚の龍の貯金箱が正面を向いていた。その横では可愛い招き猫が微笑んでいる。手に取ると小銭がぎゅっしり詰まった猫の貯金箱だった。この件を知っている貴代の仕業に違いなかった。松次郎は身体中にじわっと暖かいものが広がっていくのを感じた。

そして、朝食時には、これ以上はない嬉しいクリスマスプレゼント。花菜のお腹に新しい命が宿ったことを聞かされたのだ。自分で育てることが出来なかった心の中の龍は、こうやって家族が支えてくれている。さあ、来年は生まれてくる孫のために、へびの貯金箱を用意しなくてはと、もう松次郎の「総幸福量」はマックスに達し爆発寸前だった。

「さあ、母さん。酒だ、酒だ、しまっちゅ伝蔵だー」「やめて下さいよお父さん、まだ朝ですよ」と貴代は笑った。

25度  
好評発売中



喜界島酒造株式会社  
 鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12  
 090967(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



昔ながらの手造り  
 こだわり焼酎  
 喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokのある味と香ります。

常圧蒸留

# 総幸福に乾杯!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。